

ウニコナゾールP液剤 スミセブンP液剤	取扱メーカー： ホクサン、住友化学 原体メーカー： 住友化学
成分： ウニコナゾールP〔トリアゾール系〕……………0.025% その他 PRTR 該当成分： ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル〔PRTR・1種〕…1.0%以下	性状： 無色透明水溶性液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- ロミカ粒剤の項参照。
- ジベレリンの生合成を阻害し、節間伸長抑制と着花促進に効果がある。
- 苗の徒長を防止し、育苗時の苗ずらし作業や水管理が楽になる。また、苗がらみや、植え込みを少なくし、移植作業の効率がよくなる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 他の薬剤との混用はさける。
- 本剤の伸長抑制効果は、作物の種類や品種、栽培条件、処理方法などによって異なるが、一般に使用量が多いほど効果が高くなる傾向があるので、希望する抑制程度に合わせて所定範囲内で決める。但し、きく（ポットマム）、ポインセチア、

つつじ及びしゃくなげでは使用量が多くなるほど開花時期が遅れる傾向があるので留意する。

- 茎葉散布の場合は植物体全体、特に新葉部に均一にかかるように散布する。
- 土壌灌注により処理する場合は所定量の水にうすめ、鉢土全体に均一に灌注する。土壌が過湿状態の時は使用をさける。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 栽培管理が不適当な場合は、十分な効果が得られないことや効果が強すぎて生育が遅れることがあるので、適切な栽培管理のもとで使用する。

【安全対策上の注意】……………

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

【適用と使用法】……………

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ウニコナゾールPを含む農薬の総使用回数
いちご 〔とよのか (促成栽培)〕	徒長防止による 健苗育成	50倍	10㎖/株(4号鉢) (原液0.2㎖/株)	低温暗黒処理 7日前～直前	1回	茎葉 散布	—	1回
てんさい	育苗期の 伸長抑制	10～20倍	ペーパーポット 1冊当たり50㎖ (原液2.5～5㎖/冊)	本葉抽出期 (本葉長2mm 以上)～ 移植2週間前				
		100倍	ペーパーポット 1冊当たり500㎖ (原液5㎖/冊)					
キャベツ		250～ 1000倍	トレー (30cm×60cm) 1枚当たり50～100㎖	定植前子葉 展開期～本 葉3葉期	土壌 灌注			
				は種後出芽前				

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ウニコナゾールPを含む農薬の総使用回数
レタス	育苗期の伸長抑制	250～1000倍	トレー（30cm×60cm） 1枚当り50～100ml	定植前子葉展開期～本葉2葉期 は種後出芽前	1回	茎葉散布	—	1回
水稲	育苗期の徒長防止	250～350倍	籾と葉液の容量比1：1以上	催芽前（種子消毒後）		土壌灌注 15～24時間 種子浸漬		2回以内 （種子浸漬は1回以内、本田では1回以内）
きく （ポットマム）	節間の伸長抑制（矮化）	25～50倍	5～10ml／5号鉢 （原液0.1～0.2ml／5号鉢）	摘芯 10日後頃	2回以内	茎葉散布		2回以内
		50～100倍	50～100ml／5号鉢 （原液1ml／5号鉢）			土壌灌注		
ポインセチア		15～25倍	5～10ml／5号鉢 （原液0.3～0.5ml／5号鉢）					
アゲラタム		5～10倍	0.5ml／株	育苗期 本葉2～4葉期	1回	茎葉散布		1回
インパチェンス		10倍	2ml／株	鉢上後				
金魚草		50倍	0.5～1ml／株					
けいとう		25倍	0.5ml／株	育苗期 本葉2～4葉期	3回			3回以内
サルビア		12.5～25倍						
パンジー		50～100倍						
ヒペリカム （鉢栽培）	12.5～50倍	5～10ml／5号鉢	育苗期（萌芽10日後、萌芽30日後及び萌芽50日後）	1回	1回			
ゼラニウム	茎葉の伸長抑制による小型化	25～50倍	0.5～1ml／株	育苗期 本葉2～4葉期	2回	2回以内		
日々草		50倍		定植後 本葉3～4節時			1回	
はばたん	10倍	2ml／株	育苗期 本葉2～4葉期及び鉢上後	1回	1回			
ペチュニア	25～50倍	0.5～1ml／株	育苗期 本葉2～4葉期	3回	3回以内			
まつばばたん	12.5～25倍	0.5～2ml／株	育苗期 本葉2～4葉期					
マリーゴールド	10倍	0.5～2ml／株	育苗期 本葉2～4葉期	3回	3回以内			
	5～10倍		鉢上後					
シンフォリカルポス （鉢栽培）	12.5～25倍	5～15ml／5号鉢	鉢上時（摘心時）、鉢上後約20日及び鉢上後約40日	2回以内	2回以内			
つつじ類 （鉢栽培）	節間の伸長抑制（矮化）及び着蕾数増加	15～20倍	5～10ml／5号鉢 （原液0.3～0.5ml／5号鉢）	新梢伸長初期	2回以内	2回以内		

作物名	使用目的	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ウニコナゾールPを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	育苗期の伸長抑制	トレー (30 cm × 60 cm) 1 枚当り原液 1 ～ 2.5 ml	は種時	1 回	培養土混和（原液を水で希釈し、育苗培養土に均一に混和してトレーに土詰め後、は種する。）	北海道	1 回